

Rosette 日本語住所データ解析システム

住所データを正確に「分かち書き」し、ローマ字変換も対応

Rosette® 日本語住所データ解析システム (JPOST: Japanese Postal Address Analyzer) は、データ照合などを行うアプリケーションにおいて、複雑で統一性のない日本語住所形式の処理を可能にし、日本語住所データの解析、正規化、照合をおこないます。

日本の住所形式は地域によって使用している形式が異なり、ソフトウェアにおける日本語住所データの解析、正規化および確認・照合が難しくなっています。しかし、Rosette 日本語住所データ解析システムは以下の機能の実現により、日本語住所データの取扱を容易にしました。

- 日本語住所を構成要素ごとに分割
- 郵便番号による住所の特定
- 住所データの正規化
- 入力された住所構成を、JPOST内蔵のデータベースと照合
- 郵便番号や都道府県名などの記入洩れをデータに自動入力
- 日本語住所表記をカタカナ(ふりがな)ローマ字に変換
- 印刷用等に住所データをフォーマット化

DBのグローバル対応用に、日本語住所情報のアルファベット化、都道府県等の分かち書きが必要な方にお勧めです。



入出力例

入力データ:

〒100-8902 東京都千代田区霞ヶ関1丁目3-1

出力:

住所構成要素	地図形式	フリガナ	ローマ字
郵便番号	100-0013	100-0013	100-0013
都道府県名	東京都	トウキョウト	Tokyo-to
区名	千代田区	チヨダク	Chiyoda-ku
地区名	霞が関	カスミガセキ	Kasumigaseki
丁目	1	1チョウメ	1 choume
番地	3	3バンチ	3 banchi
号	1	1ゴウ	1 gou

特長

正規化機能:

- 3桁もしくは5桁の郵便番号を新しい7桁の番号に変換
- 全角ローマ字およびアラビア数字を半角に変換
- 半角カタカナを全角カタカナに変換
- 番地、建物名、部屋番号の表記
- 漢数字をアラビア数字に変換
- 主な表記のゆれおよび建物名の省略形への対応

仕様

- C/C++ API
- 多くのプラットフォームに対応
- スレッドセーフ

対応プラットフォーム

以下のプラットフォーム対応のSDKを提供します。その他のプラットフォームのサポートも、ご要望に応じ対応します。

AIX 6.1, PPC	Linux Ubuntu 10.x/11.x, IA32/AMD64
HP-UX 11i, IA64	MacOS
Linux CentOS 4.x/5.x, IA32/AMD64	Solaris 10, SPARC32/64, IA32/AMD64
Linux Debian 5.x, IA32/AMD64	Windows XP/Vista/7, IA32/AMD64
Linux Red Hat 4.x/5.x, IA32/AMD64	Windows Server 2003, 2008

お問い合わせ

さらに詳しい製品情報ならびに評価版のご利用をご希望の方は下記へご連絡ください。

info2011@basistech.jp

www.basistech.jp

電話 03-3511-2947

詳細 www.basistech.jp お問い合わせ info2011@basistech.jp 電話 03-3511-2947

〒102-0084
東京都千代田区二番町9-6

One Alewife Center
Cambridge, MA 02140

2553 Dulles View Drive
Herndon, VA 20171

171 Second Street
San Francisco, CA 94105

